

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事務所に掲示・事業計画にも記載。コアバリューを掲示し、理念を元にケアに取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症の影響もあり、以前のようにには行えていないが、認知症ケアへの参加、散歩や地区清掃等へ参加し、交流を図っている。	釜の日を実施する際に地域の方などお招きし交流を図る。 以前は小学生との交流(課外授業等)があったと思うが、施設に来てもらったり訪問するなど交流機会を設けていく。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	書面での開催も多かったが、委員の方の意見を参考にし、サービスの見直し等行っている。	これまで活動などにアドバイスを頂き、実際に取り組んだ事で入居者の活動・意欲向上に繋がった事もあり、引き続き意見をお願いします。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市役所や包括等へ実情を伝え相談を行っている。指定変更や加算算定についても不明点は都度相談・確認している。	石岡市としては、情報提供や研修など担当者が意欲を持って取り組んでいます。今後も引き続き連携・協力をお願いします。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会や研修等により玄関の施錠は夜間帯を除き開放しており、散歩・外気浴等実施している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自由に過ごせるよう取り組んでいる事で、入居者の様子を観て、身体拘束等を行わない取り組みが十分出来ていると思います。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会や研修を行い、常に意識すると共に振り返りを行い、虐待に繋がらない為の対応を会議等で話し合っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄の有無など声掛けの仕方を工夫するとより良い。生活の場であるが、職員内でわかる言葉でやり取りするのも一つの対策です。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修への参加と現場へのフィードバックを行い、理解が深めるよう取り組んでいる。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	分かりやすいよう内容もかみ砕き説明を行っている。大きなトラブルもない為、理解は得られていると思います。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議だけでなく、面会時や電話等でのやり取りを密に行っており、その際に意向など確認している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族と電話や来園時のやり取りが行えていて、連携を図れていると思います。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議以外にも個別に意見の抽出を行い、実践できるようサポートしてくれている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ワークライフマネジメントの取り組みを通して、時代の変化に合わせ、法人内で制度や給与水準等の見直しを行っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修、育児や介護の諸制度が充実しており、残業もほぼない状態で就業環境は大変充実していると思います。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法定研修以外にも外部研修への参加支援(出勤扱い・研修費施設負担等)を行っている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スキンシップ・関わりしながら体操したりというレクリエーションの研修などに参加していくと、良い支援に繋がっていくと思います。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の事業所以外にも同業者との集まりへも参加し、情報交換やネットワークが出来ている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事や散歩等一緒に行い、一緒に楽しむ機会を下さり、会話の中で感謝を伝えるようにしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの物などを持参して頂いたり、ご家族などより色々と情報収集は行っているが、その情報を基とした支援展開には十分には繋がっていないように感じている。	個別での対応が難しい場合は、同じ意欲・希望を持った方を集め、一緒に提供していく。入居者が活躍できる環境を引き続き作っていけるようにする。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のペースや希望に合わせた支援提供に努めているが、まだまだ不足していると感じている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3ヶ月に一度モニタリングを行い、個々に合わせたケアの見直しは出来ている。状態変化があれば速やかに変更も行っている。	継続して状態に合わせその都度見直しを図っていきます。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	モニタリングを行い、ご本人・家族の意向を定期的に確認し、介護計画を作成できている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録ソフトを活用し、昼夜情報を記録している。日々の変化も記録・申し送り等で共有されている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録ソフトを活用したデータ分析について、マニュアルや指導を通して全員が行えるようにしていけるとより良い。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族様のニーズに対して、代行サービスや外部サービスの活用などを通し最大限に満たしている。	できない事はできないと伝える事も必要なので、内容を確認し、対応可能な範囲で行っていきます。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響により地域資源の活用は減ってしまっているが、在宅復帰では地域資源も活用しその方に合わせた支援に結び付ける事ができた。	外出支援などでボランティアを依頼するなど地域資源を活用していく。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院選択が必要な際は家族とよく相談し、理解を得られた上でかかりつけとして、医師と連携しながらその方の支援を提供できている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時の情報提供だけでなく、定期的な状態確認を行い、退院時にスムーズに施設に戻れるよう連携している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院中も病院と連携を図り、状態把握に努める事ができていると思います。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時や状態変化時の説明をしっかりと行い、早い段階で話し合いし、希望に沿った支援を実施している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取りを実施している事もあり、家族と話し合い十分に取り組めていると思います。

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる					
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルや研修を通して知識はあるのである程度は対応はできるが、定期的な訓練は行えておらず、実践力に課題が残る。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	BCP 作成し、定期的に避難訓練等の訓練を実施している。地区の消防団より有事は見回りを行ってくれると言われている。	災害が少ない地域ではありますが、備蓄水など準備できている。日頃から訓練を実施していきます。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	BCP やマニュアル等整備されて準備は出来ている。実際の場面で1人ひとりが行動できると良い。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止委員会での取り組みや個人情報保護の研修、認知症ケアの点で尊厳を保持し、適切なケアを意識している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	声掛けの工夫を常に意識していくと尊厳の保持に繋がっていくと思います。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の希望に合わせた生活が送れるよう意識しているが、十分できているとは言えないと感じている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理補助をしてもらったり、献立・味付けのアドバイス頂き、盛り付けの工夫、メニュー説明等行いながら美味しく楽しく食事が出来るよう取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別対応は難しいが、下準備を手伝ってもらったり、味付けを聞いたり、釜の日等も含め楽しく食事ができるよう取り組んでいる。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	摂取量の記録以外に摂取状況に合わせ形態や食材の見直しを行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後実施しているが、特に昼食後は職員も多い時間の為、重点的に口腔ケアを実施。訪問歯科も入り歯科医とも連携できている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科医とも連携し、口腔内の清潔保持に取り組めている。誤嚥性肺炎の発症もみられていない。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	極力トイレでの排泄を支援し、個々に合わせ声掛けや誘導、確認を実施している。下剤も調整しながら対応している。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に合わせた排泄形態で対応できている。便秘について、下剤だけではなく水分・活動等非薬物療法で改善できると良い。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	順番やタイミングは個々に合わせ対応し、状態にあった入浴形態で入浴。季節に応じた入浴剤も活用している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体力や状態に合わせて、個々に静養・就寝時間を設けている。日中や外気浴や活動を通して生活リズムを整え、夜間安眠に向けた取り組みをしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員2名にて準備を行っているが、用法・副作用については全職員が把握できている訳ではない。		A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者個々の副作用等の理解は難しいかもしれないが、入居者の疾病等を全員が把握できると良い。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩や家事等、その方の役割・生きがいを感じてもらえるような事を探り、提供するようにしている。	意欲低下は薬の影響(睡眠導入剤・下剤等)も考えられます。意欲を引き出す為に薬の見直しをしてみる。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の散歩、買い物、受診や協力の得られる家族との外出は出来ているが、それ以外は少なく感じている。	コロナ禍以前と比べてもまだ少ないと感じている。毎日とは言わず、少しでも頻度を増やしていけるよう取り組んでいきたい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症もあり、金銭管理は施設で行っているが、本人の状況によっては促す事もある。また、希望を確認し、職員で購入等対応している。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望時に電話をかけたり、月1回のお手紙で伝えたい事を伺ったり、書いたりしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有スペースは、使い易さ・動き易さに応じた環境整備を行っており季節感を感じられる飾りつけをしている。		A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の行動を観察し実施している。変更は環境変化に繋がりマイナスに働いてしまう事もあるので程良く実施すると良いと思います。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の立場に立ち、本人のペース・性格を尊重し、尊厳を傷つけないようにしながら支援している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的にバックグラウンドの聞き取りを本人・家族より行い、情報を更新し支援に努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療職と連携し、入居者の状態に合わせたケアを検討し、本人・家族へも説明しながら支援を行っています。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療職・看護職との連携が図れており、細かな所も相談できている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全く一緒とはいかないが、ご本人のペースや意向を尊重した生活が送れるよう支援している。（畑仕事、家事、読書等）			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に馴染みの物の持参を依頼し、家具・布団等の大きい物から茶碗・湯呑・写真等身近な物も取り入れている。		A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新しい物を購入されてくる方もいるようだが、馴染みの物を取り入れるようしている。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前よりも家族との外出や県内散策に外出しているが、感染症を懸念しコロナ禍以前の外出頻度には戻せていない。	コロナは今後も付き合っていないといけないが、非日常の活動(買い物・外出等)は脳の活性化につながる為、感染対策実施の上、外出支援を増やしていく。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の見極めにて声掛けや掲示等工夫し実施したり、一緒に行うように努めている。ケアプランでもできない事を具体的に支援方法を記載している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	関わりを通して談笑したり、家事・料理、軽作業等の活動を行う中で笑顔多くみられている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者を見てると笑顔も多い。引き続き取り組んでいってください。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族との交流は増えてきているが、地域との交流する機会がまだ少ない為ボランティア受入や催事参加など、少しずつでも増やしていきたい。	少人数のボランティアから受入れていく。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自由に過ごして頂く事を第一に考え、その中の心配事や課題に対しては、家族・関係機関等とも連携を図りながら住み続けられるよう支援している。	自由に過ごせるという環境はとても良い事なので更に自由に過ごせるよう取り組んでいく。	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他の所では帰宅願望＝ここに居たくないという方がいるそうだが、自由に過ごせて、食事も満足できている環境があり、継続してほしい。